

四 国

四国の景況は、個人消費が弱含んだものの、住宅建築が持ち直し、雇用情勢も改善基調にあるなど、横這い圏内の動き。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、大型小売店販売が減少し、弱含み。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加し、緩やかな持ち直し。設備投資は、一部で投資を積み増す動きがみられるものの、全体では慎重姿勢。公共工事は、国、県、市町村が増加し、やや上向き。輸出は、輸送機械、化学が増加し、足許増加。

生産活動は、プラスチック製品が増加したものの、電気機械が減少し、全体では横這い圏内。観光は、温泉地、観光地への入込客が増加し、上向き。雇用は、卸・小売業、宿泊業で新規求人数が増加し、改善基調。

先行きは、緩やかに改善していくとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								